

戦争のための、国民の根こそぎ動員

戦局が重大になるにつれて、「人的資源」という言葉が公然と唱えられるようになり、成人男女は根こそぎ、動員されるようになった。

昭和十八年の秋には、「戦力増強国民徴用」と銘打って、男女とも政府の命じる工場や、食料増産に動員されたし、昭和十九年から、朝鮮同胞男子も、戸籍や寄留などの一斉調査が行われ、次いで軍隊に入隊を強制されるようになった。

私の入隊した、金澤の騎兵部隊にも、朝鮮(当時の呼び方)からの兵隊が班の中に三人来たり、平山・平村・大山など、彼らの意に染まない日本名で入隊させられた。

また、女性も家事などで家庭に留まることは許されなく、すべて軍需工場に強制就職させられた。

朝鮮同胞男子調査表

姓名	石井照子	次女
住所	東京市日本橋区通二丁目	東京市日本橋区通二丁目
職業	無職	無職
備考

朝鮮同胞男子及寄留★戸籍★一斉調査

◎何故此の調査を
必要としますか!

昭和十九年度から朝鮮に徴兵制度を施行することになりましたので、朝鮮同胞男子の戸籍及寄留を立派にせねばなりません。関係上今回の調査を必要とするに至った譯であります。

- ◎時期 昭和十九年十一月十日
- ◎対象 内地及外地に在住する朝鮮同胞男子を全員
- ◎方法 戸籍調査と寄留調査を併せて行います。

◎朝鮮同胞男子の皆様!

- 一人残らず寄留届を致しませう。
1 本籍の無い者や本籍不明の者でも寄留届をすれば差支ありません。
2 寄留届を致す際は、本籍地を記入することになります。
- 豫め調査事項を調べて置いて下さい。
調査事項は、本籍地、年齢、性別、職業、婚姻状況、家族構成等です。
- 本籍の無い者、本籍不明の者は此の際本籍を明に致しませう。

省 法 司